

比企地区総合学科高校準備委員会

報告書

平成15年3月

# 目 次

ページ

1	比企地区総合学科高校設置の基本的枠組み	1
2	学校像、育てたい生徒像	1
3	教育課程の基本方針	2
4	総合学科の系列	2
5	設置教科・科目等	4
6	施設・設備	6
7	特長	6
	参考	6

## 資 料

1	比企地区総合学科高校準備委員会の審議経過	7
2	比企地区総合学科高校準備委員会専門部会の審議経過	7
3	新校準備委員会設置要綱	8
4	比企地区総合学科高校準備委員会委員名簿	10
5	比企地区総合学科高校準備委員会専門部会部会員名簿	11

## はじめに

県教育委員会は、平成13年3月に策定した「21世紀いきいきハイスクール推進計画」の中で、生徒数の減少を踏まえ、県立高校の活性化・特色化を図り、各学校をいきいきとさせていくため、県立高校の教育内容の充実を図るとともに、県立高校の再編整備を進めながら、彩りゆたかな高校づくりを推進する方向性を示しました。

この方針に基づき、平成14年1月には、平成15年度までに再編整備に着手する計画を「21世紀いきいきハイスクール前期再編整備計画」として策定しました。

この計画の中で、滑川高校と吉見高校の統合により、比企地区総合学科高校を平成17年度に設置することが示されました。

これを受け、比企地区総合学科高校準備委員会は、専門部会に対し、教育内容の専門的な事項の検討を委ねながら、統合により設置される学校の基本的な枠組みなどについて、検討を進めてまいりました。

この報告は、その検討結果をとりまとめたものです。

## 1 比企地区総合学科高校の基本的枠組み

### (1) 比企地区総合学科高校の設置の目的

比企地区総合学科高校は、環境や情報の分野などに多様な選択科目を設け、生徒一人一人の進路希望を実現する総合学科高校として設置するものとする。

### (2) 比企地区総合学科高校の設置

比企地区総合学科高校は、滑川高校と吉見高校を統合し、両校のこれまでの教育活動を踏まえた総合学科高校として設置する。

### (3) 設置場所

比企郡滑川町大字月輪 1 1 3 6 番地（現滑川高校）に設置する。

### (4) 課程・学科

全日制課程の総合学科とする。

### (5) 学校規模

各年次 2 8 0 人、合計 8 4 0 人の規模を想定する。

### (6) 開校予定年度

平成 1 7 年度を開校予定とする。

## 2 学校像、育てたい生徒像

### (1) 学校像

学校像は、比企地区総合学科高校の設置の目的や再編整備対象校のこれまでの取組を踏まえ、次のとおりとした。

多様な学習ニーズに応え、生徒の自己実現を積極的に支援する学校  
確かな学力を身に付けさせるとともに、生徒一人一人の個性を生かし伸ばせる学校  
比企地域の自然、文化に学び、地域との交流を通し、地域に信頼され開かれた学校

### (2) 育てたい生徒像

育てたい生徒像は、学校像や再編整備対象校のこれまでの取組などを踏まえ、次のとおりとした。

将来を展望し、自らの志を立てその実現に向かって努力する生徒  
有為な社会人としての自覚を持ち、たくましく心豊かに生きる生徒  
心身共に健康で、学習や部活動に積極的に取り組む生徒

### 3 教育課程の基本方針

教育課程の基本方針は、比企地区総合学科高校の設置の目的や学校像、育てたい生徒像等を踏まえ、次のとおりとした。

なお、学期ごとの単位認定などが可能となる二学期制の導入については、今後新校の教育課程を編成する際に、検討するものとする。

<p>基礎・基本の確実な定着と確かな学力を身に付けさせる。 社会の変化や生徒・保護者のニーズに応える幅広い選択科目や特色ある科目を設定する。 進路指導や生徒の科目選択などのガイダンスの機能の充実を図る。 インターンシップ（就業体験）を活用し、望ましい勤労観、職業観を育成し、将来についての考察を深めさせる。 教科・科目の学習を通して、上級学校進学及び各種検定合格、資格取得を目指す。 大学や企業などの関係者、経験豊かな地域の専門家等の協力を得るなど地域との連携を図る。 近隣の社会教育施設等との連携によるボランティア活動等における学習成果の単位認定を積極的に活用する。 近隣の大学・短大や研究機関等との連携を図り、高度な「学び」の場を提供する。 ホームルーム活動、学校行事等の特色化、活発化を図る。</p>
---

### 4 総合学科の系列

#### (1) 設置する系列

設置する系列は、「21世紀いきいきハイスクール前期再編整備計画」や再編整備対象校のこれまでの教育の成果、地域の実態等を考慮するとともに、国際化、情報化、少子高齢化に対応できる教育活動を展開するために、次のとおりとした。

〔人文社会に関する系列〕

〔環境・自然科学に関する系列〕

〔国際文化に関する系列〕

〔情報ビジネスに関する系列〕

〔健康スポーツに関する系列〕

〔福祉・家政に関する系列〕

(2) 各系列の目標等

各系列の目標は、教育課程の基本方針や各系列での学習を通して期待される能力、態度などを踏まえ、次のとおりとした。

なお、想定進路については、各系列の学習を通して、どのような分野への進路が想定されるかを示した。

系 列	目 標	想定進路
人文社会に関する系列	人文科学、社会科学の基礎的・基本的な知識の習得と体系的発展的な学習を通して、人間が営む社会の諸現象を多面的に考察するとともに、現代社会の直面する諸課題に取り組む能力と態度を育てる。	人文系・社会系大学、短大、専門学校への進学 関連分野への就職
環境・自然科学に関する系列	理数系科目に関する基礎的・基本的な知識や技術の習得を通して、自然科学に対する関心や探求心を深め、事象を科学的に考察する能力を高める。また、環境に関する学習を通して、豊かな環境を保全し望ましい環境を創造する能力と態度を育てる。	理系・環境系大学、短大、専門学校への進学 関連分野への就職
国際文化に関する系列	国語及び外国語に関する基礎的・基本的な知識の習得と体験的な学習を通して、コミュニケーション能力を育成するとともに、我が国と世界の多様な文化に対する理解を深め、これを尊重し、世界の人々と共に生きる資質を育て、国際社会の発展に寄与する能力と態度を育てる。	人文系・外国語系・社会系大学、短大、専門学校への進学 事務系、サービス関連分野への就職
情報ビジネスに関する系列	高度情報社会に必要な基礎的・基本的な知識や技術を高めるとともに、情報を活用する能力やビジネス活動に必要な幅広い知識の習得を通して、情報化の進展と経済社会の発展に寄与する実践的な能力と態度を育てる。	経済・商学・流通・情報系大学、短大、専門学校への進学 事務系、情報関連分野への就職
健康スポーツに関する系列	健康、栄養、スポーツ等についての基礎的・基本的な知識や技能の習得を通して、健康の保持増進に関する実践力の育成を図り、生涯にわたり明るく豊かで活力ある生活を営む能力と態度を育てる。	栄養食物・体育系大学等への進学 健康、スポーツ等関連分野への就職
福祉・家政に関する系列	福祉・保育・家政に関する基礎的・基本的な知識と技術の習得を通して、他人を思いやる心など豊かな福祉マインドを育み、少子高齢社会の諸課題を主体的に解決し、社会福祉などの充実・発展と豊かな生活の増進に寄与する創造的な能力と実践的な態度を育てる。	福祉・保育・家政系大学、短大、専門学校への進学 福祉等関連分野への就職

## 5 設置教科・科目等

比企地区総合学科高校は、人文社会に関する系列、環境・自然科学に関する系列、国際文化に関する系列、情報ビジネスに関する系列、健康スポーツに関する系列、福祉・家政に関する系列をもつ総合学科高校であり、これら6系列を踏まえ、教科・科目等の構成と設置する教科・科目等は、次のとおりとした。

### (1) 教科・科目等の構成

教科・科目等の構成は次のとおりである。

#### ア 教科・科目

- ・ 必履修科目      ・ 原則履修科目（総合学科）
- ・ 総合選択科目（系列に関する選択科目）      ・ 自由選択科目

#### イ 総合的な学習の時間

#### ウ ホームルーム活動

### (2) 設置する教科・科目等

設置する教科・科目の例は、次のとおりとした。設置する教科・科目の例は、平成11年3月告示の高等学校学習指導要領に基づき設定した。今後、この例を参考に教育課程を編成する。

#### ア 学習指導要領に示された必履修科目

教科	科 目
国 語	国語表現 及び国語総合のうちから1科目
地理歴史	世界史A及び世界史Bのうちから1科目並びに日本史A、日本史B、地理A及び地理Bのうちから1科目
公 民	現代社会又は倫理・政治・経済
数 学	数学基礎及び数学 のうちから1科目
理 科	理科基礎、理科総合A、理科総合B、物理 、化学 、生物 及び地学 のうちから2科目（理科基礎、理科総合A及び理科総合Bのうちから1科目以上を含むものとする）
保健体育	体育及び保健
芸 術	音楽 、美術 工芸 及び書道 のうちから1科目
外国語	オーラル・コミュニケーション 及び英語 のうちから1科目
家庭	家庭基礎、家庭総合及び生活技術のうちから1科目
情報	情報A、情報B及び情報Cのうちから1科目

#### イ 原則履修科目

「産業社会と人間」を1年次に履修する。

## ウ 総合選択科目の例

### 人文社会に関する系列

現代文 国語表現 ・ 古典 日本史B 世界史B 地理B 政治・経済  
学校設定科目（例：古文精読、現代文研究、世界文化史）など

### 環境・自然科学に関する系列

数学 数学 数学A 数学B 数学C 物理 化学 生物  
学校設定科目(例：環境基礎 埼玉の環境 自然エネルギー基礎 環境のための地球観測学習、地理情報システム) など

### 国際文化に関する系列

オーラルコミュニケーション 英語 リーディング ライティング  
異文化理解 時事英語 コンピュータ・LL演習  
学校設定科目（例：日本の文化 比較文化 言語文化研究 ドイツ語 フランス語 中国語）など

### 情報ビジネスに関する系列

情報処理 ビジネス情報 文書デザイン プログラミング 情報と表現  
ビジネス基礎 簿記 会計実務 コンピュータデザイン  
学校設定科目（例：観光一般、プレゼンテーション）など

### 健康スポーツに関する系列

体育理論 体づくり運動 スポーツ ・ ・ ダンス 栄養 食品衛生  
フードデザイン 学校設定科目（例：保健理論、レクリエーション）など

### 福祉・家政に関する系列

社会福祉基礎 家庭看護・福祉 社会福祉援助技術 基礎介護 社会福祉実習  
発達と保育 児童文化 調理 服飾文化 ファッションデザイン  
学校設定科目（例：ガーデニング、リトミック）など

なお、特色ある学習や地域に根ざした学習等の展開に向け、各系列に設置する科目の研究に努める。

## エ 自由選択科目の例

理数数学探究 世界史A 日本史A 地理A 物理 化学 生物  
音楽 ・ 美術 ・ 書道 ・ ソルフェージュ 素描 学校設定科目  
（例：評論研究 郷土の文学 保全生態学基礎 有機農業基礎 世界地誌 英語スキルアップ 仮名の書 染色デザイン 保育技術）など

必修科目や総合選択科目の設置科目等により、自由選択科目も変わるものとするが、系列の科目とは別に幅広い科目が学習できるよう工夫する。

なお、大学入試センター試験など大学等進学に必要な科目や各種検定試験に必要な科目の設置等にも留意する。

## オ 総合的な学習の時間

総合的な学習の時間においては、地域や学校、生徒の実態等に応じて、横断的・総合的な学習や生徒の興味・関心等に基づく学習を行う。

## 6 施設・設備

施設・設備については、教育課程の基本方針や設置教科・科目等の検討結果を踏まえ、既存施設・設備の有効活用を基本に、必要な施設・設備の計画的な整備に努めることとする。

## 7 特 長

比企地区総合学科高校の主な特長は、次のとおりである。

総合学科高校として、新しい時代の要請に応える環境、情報、国際、福祉、健康など幅広く特色ある分野の学習を展開する。

近隣の大学等と連携し、高度な「学び」の場を提供する。

地元企業や産業界と連携し、将来の職業選択に向けて、望ましい勤労観・職業観を育成する。

### 《 参 考 》

再編整備対象校の現行の学科、募集人員と新校設置時の学科、想定募集人員は、次のとおりである。

現 行（平成14年度）			新校設置時（平成17年度）		
学校名	学 科	募集人員	新校のタイプ	学 科	想定募集人員
滑 川	普通科	280	比企地区総合学科高校	総合学科	280
吉 見	普通科	160			

## 比企地区総合学科高校準備委員会の審議経過

開催年月日	審 議 内 容
平成14年 2月20日	第1回(他地区と合同) <ul style="list-style-type: none"> <li>・21世紀いきいきハイスクール推進計画及び21世紀いきいきハイスクール前期再編整備計画の概要</li> <li>・新校準備委員会及び専門部会</li> <li>・検討事項及び検討日程</li> </ul>
平成14年 4月16日	第2回
平成14年 7月17日	第3回
平成14年10月22日	第4回
平成15年 2月 5日	第5回
平成15年 3月18日	第6回

## 比企地区総合学科高校準備委員会専門部会の審議経過

開催年月日	審 議 内 容
平成14年 2月20日	第1回(他地区と合同) <ul style="list-style-type: none"> <li>・21世紀いきいきハイスクール前期再編整備計画の概要</li> <li>・新校準備委員会及び専門部会</li> <li>・検討事項及び検討日程</li> <li>・第2回新校準備委員会専門部会</li> </ul>
平成14年 4月26日	第2回
平成14年 6月 5日	第3回
平成14年 7月 4日	第4回
平成14年 9月20日	第5回
平成14年10月15日	第6回
平成15年 1月15日	第7回

## 新校準備委員会設置要綱

### (設置)

第1条 「21世紀いきいきハイスクール前期再編整備計画」(以下「再編整備計画」という。)の円滑な推進を図るため、再編整備計画に基づき新たに設置される高校(以下「新校」という。)ごとに、別表1に定める新校準備委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

### (所掌事項)

第2条 委員会は、次に掲げる事項について所掌する。

- (1) 新校の基本的枠組み、教育課程及び教育内容に関すること。
- (2) 新校への移行の円滑な推進に関すること。
- (3) その他新校の設置に関すること。

### (構成)

第3条 委員会は、別表2に掲げる者をもって構成する。

- 2 委員会の構成員(以下「委員」という。)は、教育長が委嘱または任命する。
- 3 委員会に委員長及び副委員長を置き、委員の互選により選任する。
- 4 委員長は、委員会を代表し、会務を統括する。

### (会議)

第4条 委員長は、委員会の会議を招集し、主宰する。

- 2 委員長は必要に応じて、関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。
- 3 副委員長は、委員長を補佐し、委員長に事故あるときは、その職務を代理する。

### (会議の公開)

第5条 委員会の会議は、原則として公開とする。ただし、出席した委員の3分の2以上の多数で議決したときは、非公開とすることができる。

### (設置期間)

第6条 委員会の設置期間は、委員会が設置された日から平成15年3月31日までとする。

### (専門部会)

第7条 委員会に、専門的事項を調査検討するため、専門部会を置く。

- 2 専門部会は、部会長及び部会員で構成し、別表3に掲げる職にある者をもって充てる。
- 3 部会長は、部会員の中から、委員会の委員長が指名する職にある者をもって充て、専門部会を統括する。
- 4 部会長は、専門部会の会議を招集し、主宰する。
- 5 部会長は、必要に応じて、関係者の出席を求め、意見を聴くことができる。
- 6 専門部会は、原則として公開とする。ただし、出席した部会員の3分の2以上の多数で議決したときは、非公開とすることができる。

### (庶務)

第8条 委員会及び専門部会の庶務は、教育局管理部高校改革推進室長において処理する。

### (その他)

第9条 この要綱に定めるもののほか、委員会及び専門部会の運営について必要な事項は委員長が別に定める。

### 附 則

この要綱は、平成14年2月19日から施行する。

### 附 則

この要綱は、平成14年4月1日から施行する。

別表 1

## 新校準備委員会

	再編整備対象校
比企地区総合学科高校準備委員会	滑川高校 吉見高校
秩父地区総合技術高校準備委員会	秩父農工高校 秩父東高校
行田地区総合高校準備委員会	行田進修館高校 行田工業高校 行田女子高校
南部地区パレットスクール準備委員会	戸田高校 浦和商业高校(定) 与野高校(定) 蕨高校(定)

別表 2

## 新校準備委員会委員

地元関係者	地元市町代表 地元教育委員会代表 地元関係者
学校関係者	中学校長会地区代表 再編整備対象高校長
教育局	管理部参事 高校改革推進室長

別表 3

## 専門部会

所属課等	部会員
再編整備対象校	校長 教頭 事務長又は事務室長(新校設置校) 校長の指定する教諭(各校1名)
財務課	教育主幹 高等学校施設担当主査
高校教育課	教員人事担当管理主事 学事担当管理主事 事務職員人事担当主査
指導課	指導主事 振興助成担当主査
高校改革推進室長	室長 主幹 教育主幹 管理主事 主査 主任

比企地区総合学科高校準備委員会委員名簿

	職 名 等	氏 名	備 考
地元・学校 関係者	滑 川 町 助 役	中 山 正 男	H14.2.20 ~ H14.10.3
	滑川町教育委員会教育長	島 村 正 義	H14.2.20 ~ H15.1.31
	滑川町教育委員会教育長職務代理者	小 林 孝 男	H15.2. 3 ~ H15.3.31
	滑川町農業委員会委員	森 田 泰 雄	
	吉 見 町 助 役	青 山 洋 三	
	吉見町教育委員会教育長	小野川 秀 雄	
	(株)三村工業代表取締役	三 村 喜 宏	
	嵐山町立菅谷中学校長	小久保 錦 一	
	滑 川 高 等 学 校 長	小 林 松 太 郎	H14.4. 1 ~ H15.3.31
	滑 川 高 等 学 校 長	河 田 耕 一	H14.2.20 ~ H14.3.31
	吉 見 高 等 学 校 長	吉 田 一 樹	H14.4. 1 ~ H15.3.31
	吉 見 高 等 学 校 長	反 町 芳 郎	H14.2.20 ~ H14.3.31
教育局 関係者	指 導 部 長	森 正 博	H14.2.20 ~ H14.3.31
	管 理 部 参 事	朝 倉 恒 夫	H14.4. 1 ~ H15.3.31
	高 校 改 革 推 進 室 長	前 島 富 雄	H14.2.20 ~ H14.3.31
	高 校 改 革 推 進 室 長	真 下 茂	H14.4. 1 ~ H15.3.31

委員の任期は、平成14年2月20日から平成15年3月31日までである。

比企地区総合学科高校準備委員会専門部会部会員名簿

所 属	職 名	氏 名	備 考
滑川高等学校	校 長	河 田 耕 一	H14.2.20 ~ H14.3.31
滑川高等学校	校 長	小 林 松太郎	H14.4. 1 ~ H15.3.31
滑川高等学校	教 頭	岡 野 祥 明	H14.2.20 ~ H14.3.31
滑川高等学校	教 頭	中 田 貞 夫	H14.4. 1 ~ H15.3.31
滑川高等学校	事務長	廣 井 多恵子	
滑川高等学校	教 諭	大 沢 恭 一	
吉見高等学校	校 長	反 町 芳 郎	H14.2.20 ~ H14.3.31
吉見高等学校	校 長	吉 田 一 樹	H14.4. 1 ~ H15.3.31
吉見高等学校	教 頭	安 斉 敏 雄	
吉見高等学校	教 頭	深 谷 敬 子	H14.4. 1 ~ H15.3.31
吉見高等学校	教 諭	野 口 賢 次	
財 務 課	教育主幹	岡 村 和 典	H14.4. 1 ~ H15.3.31
財 務 課	主 査	吉 田 浩 士	
高 校 教 育 課	管理主事兼主査	渡 邊 亮	
高 校 教 育 課	管理主事兼主査	高 田 直 芳	
高 校 教 育 課	主 査	橋 本 強	
指 導 課	指導主事	齋 藤 菊 枝	
指 導 課	主 査	志 村 進	
高校改革推進室長	室 長	前 島 富 雄	H14.2.20 ~ H14.3.31
高校改革推進室長	室 長	真 下 茂	H14.4. 1 ~ H15.3.31
高校改革推進室長	管理部副参事兼主幹	長谷川 清 司	H14.4. 1 ~ H15.3.31
高校改革推進室長	主任管理主事兼教育主幹	高 橋 丘	H14.2.20 ~ H14.3.31
高校改革推進室長	教育主幹	塩野谷 孝 志	H14.2.20 ~ H14.3.31
高校改革推進室長	教育主幹	井 田 秀 夫	H14.4. 1 ~ H15.3.31
高校改革推進室長	管理主事	河原塚 努	H14.2.20 ~ H14.3.31
高校改革推進室長	管理主事	吉 岡 秀 樹	
高校改革推進室長	管理主事	森 一 夫	H14.4. 1 ~ H15.3.31
高校改革推進室長	主 査	小 林 裕 一	
高校改革推進室長	主 任	渡 辺 悟	H14.4. 1 ~ H15.3.31

部会員の任期は、平成14年2月20日から平成15年3月31日までである。